



追悼 中沢啓治

## 「絵本はだしのゲン原画とマンガ展」 —麦のように生きるんじゃ

8月1日(木)～8月31日(土)

会期中の休館日 月曜日 入館料 大人500円 小中高生200円

昨年12月19日、漫画『はだしのゲン』の作者中沢啓治さんが亡くなりました。ご自身の被爆体験をもとに描いた『はだしのゲン』で、原爆の恐ろしさ、残酷さを初めて知った子どもは大勢いたことでしょう。

今夏、「ピースあいち」では中沢さんが生涯訴え続けてこられた戦争の愚かさ、平和の尊さを『はだしのゲン』を通じて考えていこうと、この企画展を立ち上げました。

広島平和資料館、中沢啓治さん夫人ミサヨさんなど



のご協力によって、『絵本はだしのゲン』の原画、中沢さんの遺品、連載当時の『週刊少年ジャンプ』など、滅多に目にすることのできない貴重な品々を展示します。

ポスター・チラシに使われている「麦のように生きるんじゃ」は、ゲンの父が言い続けた「麦は踏まれるほど強くなる。お前たちはその麦のように生きるんじゃ(「じゃ」は広島弁)」の言葉から引用しました。

### 【関連企画】追悼中沢啓治 映画上映とトーク

#### 映画 『はだしのゲンが伝えたいこと』

出演:中沢啓治(はだしのゲン作者) 監督:石田優子  
上映時間 32分

#### みんなで話そう はだしのゲン —中沢ミサヨさんを囲んで

#### 8月3日(土) 1階交流広場

午後1時30分～4時

参加費500円(電話申込み必要)

映画「はだしのゲンが伝えたいこと」の上映後、作者夫人中沢ミサヨさんを囲んでのトーク。「はだしのゲン」製作の苦労話や裏話を聞く貴重な機会です。

#### はだしのゲンが 伝えたいこと



(C)2011 シグロ、トモコーポレーション

### ピースあいち 今後のイベント

#### ■「夏の戦争体験語りシリーズ」

恒例のシリーズ。今回は、沖縄戦を戦った父の戦争体験を娘が語るという試みに挑むほか、愛知県における満蒙開拓団の聞き取り調査の結果を報告するという異色の取り組みが盛り込まれています。

8月1日(木)	間瀬時江さん	空襲・暮らし体験
2日(金)	服部孝子さん	空襲・暮らし体験
6日(火)	石原 隆さん	広島原爆体験
7日(火)	小島久志さん	学童疎開・空襲体験
8日(木)	望月菊枝さん	空襲・学徒動員

11日(日)	中村桂子さん	父の沖縄戦を語る
13日(水)	河村廣康さん	シベリア抑留体験
14日(水)	木下信三さん	学童疎開体験
15日(木)	平田和香さん	満蒙開拓団の記録

(注)3、4、9、10日は他事業、5、12日は休館日のためこの事業はありません。

#### ■「15歳の語り継ぐ戦争—金城学院中学生の平和新聞」7月23日(火)～8月31日(土) 2階プチギャラリー

金城学院中学3年生の広島修学旅行を、生徒がまとめた平和学習の取り組みです。

#### ■「歴史で結ぶフィリピンと日本—元兵士からのメッセージ—」8月10日(土)午後1時30分～3時30分

主催:PATHとNPO法人ブリッジ・フォー・ピース  
アジア太平洋戦争の戦地フィリピンでの体験を語り継ぐワークショッププログラム。

#### ■「peace nine 2013 巡回展」9月10日(火)～28(土) 3階展示室

名古屋芸術大学の学生・教師による絵画などの作品展

## 「21世紀の世界に9条はおすすめ」—橋本勝作品展

4月23日(日)~5月25日(土)

漫画家・映画評論家等々の多彩な顔を持つ橋本勝さんの「マンガで見る、考える9条」展。

9条の条文をマンガにし、兵器をゴミ箱にポイと捨てている作品。9の形のテーブルにさまざまな民族衣装を着た人たちがこやかに笑っている作品。車輪が兵士たちによってできている戦車の作品など、心に響く絵が多かった。また、毎日FAXで出来事を絵にして送ってくださった。5月1日(水)の絵は6機のオスプレイが飛んでいる絵で「オスプレイ正面から見るとまるで死の使いのドクロだ」という秀逸なコメントが。

橋本さんは5月6日(日)のピース祭りにおいてになり、作品の紙芝居をやってくださった。抑揚をつけ、呼びかけるような語り口は子どものみならず、大人をも魅了するものでした。



## 「沖縄戦・学童疎開の悲劇—対馬丸沈没—展」

6月11日(火)~7月6日(土)

今年の沖縄展示は、「対馬丸沈没事件」を取り上げました。1944年7月7日サイパン島陥落後、政府は沖縄戦に備えて、学童を本土や台湾に疎開させることにしました。8月21日、対馬丸は学童や家族連れなどを乗せて那覇を出港。翌22日夜、米潜水艦の魚雷攻撃により、777名の学童を含む1,422名以上の命が奪われます。学童の生存者は59名だったと言われています。

6月15日(土)、「ピースあいち」で語られた生存者の一人上原清さんの話は想像を絶するものでした。

展示は対馬丸記念館作成のパネルと上原さんの体

験画を中心にして、愛知県内の子供会の呼びかけで、慰霊碑「小桜の塔」

が建設されたなど、対馬丸沈没事件と愛知県とのつながりを示すオリジナルパネルです。

対馬丸を通して戦争を考えるきっかけになったのでは、と思っています。



## 紡ぎ出された平和運動の物語

—8月24日(土)・25日(日)に上演—

「ピースあいち」がオープンしたのは、6年前のことだが、建設運動の出発は1993年のことである。その歴史が「平演会(愛知・県民に手による平和を願う演劇の会)」の手によって劇化され、この8月に上演される。

この物語は、「ピースあいち」が辿った建設への道をタテ糸にし、これに関わったある一家の葛藤の模様をヨコ糸にして紡ぎあげたものだ。

鈴木陽平一家の娘(志保)は、ケーブルテレビのリポーターとして登場する。その祖父(吾一)は、中国戦線での加害体験が生涯の重荷となっている。長男(英夫)の妻(利恵)が子どもたちとともに訪れるが、祖父は家族が集う場から抜け出してしまふ。長男は原発関係の技術者で、福島第一原発事故の再調査に向かうという。

こうしたなかで、「ピースあいち」の建設運動の経過が語られる。祖父は戦友(山田正人)から「語り部」



公演の稽古風景

として戦争体験を語ろうと呼びかけられる。平和憲法の危機であるからこそ、沈黙を破るべきだと説得する。頑なだった祖父もようやく心を開き、戦友の話に同意するようになる。

この物語は、合唱の歌声が響きわたるなかで幕が下りる。平和を願い未来に希望を繋ぐ歌声である。

●「平和の架け橋・ピースあいち物語」 ●開催日時 8月24日(土) 14:00-18:00 / 8月25日(日) 11:00-15:00 ●会場 名古屋市千種文化小劇場 ●入場料 前売り券 一般2000円・高校生1000円・中学生500円(当日はそれぞれ300円増し)

## 日韓高校生平和交流ハムケ来館

5月5日、日韓の高校生グループ25名が来館しました。一行の平和をめざした交流は今年で10年になり、「ピースあいち」見学は3回目でした。展示レクチャーをされた「ピースあいち研究会」の西形久司さん(東海高校社会科教諭)の感想を紹介します。

『日本と韓国の高校生に向け、加害と被害のバランスを心掛けて話した。それに対し韓国の高校生は「日本が加害者であるか被害者であるかにかかわらず、平和を損ねて生命を軽視する、戦争と軍隊はこの世から消えるべきだと思う」という強烈なメッセージを残してくれた。また、「日本の人と歴史の話をするのが、とても嫌だったが、歴史を客観的に展示しているので、来

て良かった」「ピースあいちのようところがたくさんできて、多くの人が戦争の残酷さ

と実情を知り、二度と戦争が起こらないように頑張ってもらいたい」という暖かな励ましもいただいた。これは私たちの進むべき道をさし示しているように思う。』

直接に言葉を交わす交流の大切さを実感する場になりました。



## 盛況でした!「ピースまつり」

5月6日(月・祝)、気持ちの良い五月晴れのなか、今年も「ピースまつり」を開催。約280名もの参加者の笑顔が見られました。

参加団体 AHI(アジア保健研修所) 名古屋をフェアトレードタウンにしよう会 WFP(世界学校給食プログラム) 第9条の会なごや おもちゃ病院とんかち 北医療生協名東支部 なごやWFP(世界食糧計画) あいち平和映画祭 名大つるまい9条の会



## ピースあいちブックレットNo.4発行

『現代の戦争と平和—21世紀をともに生きるために』

「ピースあいち」では、常設展示では対応できないテーマについて調査研究活動を続け、その成果を特別展として開催してきました。その展示内容をもとに4冊目のブックレット『現代の戦争と平和』を発刊しました(あいちモリコロ基金助成事業)。



## あいち平和のための戦争展

若い世代に戦争の悲惨さを伝えるのを目的にして、毎年8月に開催。今年で22年目になる。県内のおよそ30の市民団体が参加。参加団体はそれぞれの分野で、訴えたいことを自由に展示する。今年は憲法問題を重点にする。「ピースあいち」も橋本勝さんの作品(前頁参照)で参加。

●8月11日(日)~14日(水) ●10:00~18:00(最終日は15時で終了) ●名古屋市公会堂4階ホール ●入場料 500円(高校生以下および障がい者は無料)

## 資料館探訪 8

### 前事不忘、後事之師

(前事を忘れず、後事の教訓とする)

### ——満蒙開拓平和記念館

2013年4月25日にオープンしたばかりの日本で最も新しい平和記念館である。



昼神温泉のある阿智村の山に囲まれた美しい自然の中にある。建物も木造平屋建で自然と溶け合っている。

阿智村のある南信地方は、国策として行われた満蒙開拓団に応募した人達が全国で一番多い所である。満蒙開拓団の人達の歴史は戦争に翻弄された歴史である。そしてそれは忘れさられつつある。満蒙開拓の歴史を伝え、後世に残すのは「今でしょ」と、つくられたのがこの記念館である。

館内は、満蒙開拓の歴史がわかるようにパネルが展示され工夫されている。当時の開拓団の住居を再現した展示もある。壁面に映る映像も迫力があるが、説明があればもっとわかる。体験証言は涙なしには読めない。(N)

総会の報告

賛助会員の拡大を申し合わせた

6月15日(土)、「ピースあいち」1階ホールで2013年度の通常総会を開いた。野間美喜子館長から、当館で講演された前中国大使・丹羽宇一郎さんの講演内容と、「対馬丸沈没展」にかかわる生存者・上原清さんの体験談が紹介された。

このあと議事に入り、2012年度の事業報告のあと、決算・監査報告を承認。次いで2013年度の事業計画、予算を協議し承認された。さらに改選期の理事会

メンバーが議題に供され承諾。賛助会員の拡大・確保の申し合わせ



では、その特典について質問があり、入館券の交付と所得税控除の対象となることが答弁され、全員会員確保に努めることを申し合わせて総会を終えた。

「ピースあいち」の缶バッジ

「ピースあいちのグッズが欲しいね」「来館記念に買ってもらえるものを」と「缶バッジ」を作成、5月のピースまつりから販売を始めました。オリジナルイラストに加え、漫画家・橋本勝さんの「憲法9条」「反原発」のバッジもできました。制作はもちろんボランティアの手



で。つくり方を教え合い、「うわっ、できた」「すてきだね」と次々で上がる缶バッジに歓声。

「孫のお土産にするわ」「友達にプレゼントするので」と、まとめて購入される来館者も。ボランティアのKさんは、ある会で隣に座った見知らぬ女性に「缶バッジをつけた方に興味があって。どこで手に入りますか」とお茶に誘われたとか。

あなたの胸にもどうぞ。明るくかわいく主張する「ピースあいち」の缶バッジ。直径38mm、1個100円です。

【ピースあいちの利用案内】

- 開館日 火曜日～土曜日
- 開館時間 午前11時～午後4時
- 休館日 日曜日・月曜日・年末年始
- 閲覧料 大人300円 小中高生100円  
(今年8月は日曜日も開館、別料金、1頁参照)
- 2階の常設展示室のほか、1階には「現代の戦争と平和」というテーマの常設展示、3階には「戦争と動物たち」の展示があります。1階には戦争に関する図書や戦争体験談のDVDライブラリーがあります。
- 学校や団体の見学で、展示ガイドや体験談を希望される場合は、事前にご相談下さい。
- 駐車場は2台分あります(300円)。他に障がい者用が1台分あります(無料)。

日中不戦の誓いを——丹羽氏講演

6月14日(金)、前中国大使の丹羽宇一郎さんが「ピースあいち」にお見えになり、日本のメディアでは報じられない、中国人のものの見方、日本人観などを話してくださいました。

参加者が最も知りたいと思っている日中関係については、両国とも戦争は望んでいないので、安倍首相と習近平国家主席が「武力を使わない」という日中不戦の誓いを今年中にやってほしいと言われた。49名の参加者があった。

●編集後記●

昨年暮れの総選挙で勝利を得た政権与党は、「改憲」を公言し、自衛隊を「国防軍」と呼び変えると宣言した。以来、国民の間に憲法論議が盛んとなった。テレビ・新聞はもとより週刊誌までが憲法を話題とすようになっていった。そうしたなかで、立憲主義とは時の権力の濫用を阻止するものだという認識が国民の間に広まっていった。当資料館では、警世の企画展を次々と開催してきた。毎年、8月になると新聞の短歌欄には、反戦・平和の歌が目立つようになる。私も一首詠んでみた。

遠き日の戦の日々を聴く子らは

眼(まなこ)見開きましたたきもせず

(S)

「ピースあいち」への交通のご案内

